

## 訂正表

国際山岳年プラス20シンポジウムin黒部 報告書に誤りがありました。  
お詫びいたしますとともに、下記のように訂正いたします。

訂正箇所		誤	正
p.4	左32行目	一同に会し	一堂に会し
P4	右33行目	生活体験の中で	生活体験の中で
P5	右17行目	合理的に叶う	合理的に適う
P10	左26行目	山岳地の災害	山岳地域の災害
P13	右1行目	Woman move mountains	Women move mountains
P14	右3行目	山の国際年のために	国際山岳年のために
P14	右31行目	2007年の	2002年の
P18	右11行目	そして通方は	そして道端は あるいは 路肩は
P22	左26行目	山岳間の農家	山岳地域の農家
P22	左28行目	融合ができるのかとりわけ、	融合ができるのか。とりわけ、
P22	右5行目	私の話しは	私の話は
P22	右11行目	一番上にある	削除
P24	左10行目	そこに対して保障	そこに対して補償
P28	右8行目	手を着けられない	手を付けられない
p.29	左4行目	山岳自然保護団である	山岳自然保護団体である
p.29	右22行目	建て替えなど敵わず	建て替えなどかなわず
p.30	左7行目	「北アルプス山小屋友好会」	「北アルプス山小屋友交会」
p.30	左15行目	軍歌調による	文化庁による
p.30	左末行	北アルプス友好会	北アルプス山小屋友交会
p.32	右31行目	もらうシステム作るのが	もらうシステムを作るのが
p.33	左33行目	というきっかけに	というきっかけに
p.35	右2行目	コーディネーターを努めます	コーディネーターを務めます
p.37	左6行目・13行目	立山芦倉小学校	立山芦嶮小学校
p.37	左24行目	中央職業能力開発研究会	中央職業能力開発協会
p.39	左3行目	とは言え	とはいえ
p.39	右5行目	の流域一貫いう	の流域一環という
p.40	右17行目	を考えてたいと	を考えたいと
p.43	左9行目	をどのように	をどのように
p.44	左3行目	バミール・アライ山脈	バミール・アライ山脈
p.45	左21行目	そうしている間にも	そうしている間にも
p.45	右10行目	食べ尽くされてから対策を	食べ尽くされてから対策を
p.46	左2行目	ご紹介いただきましたよう	ご紹介いただきましたように、
p.46	右2行目	富山市科学博物館館長	富山市科学博物館
p.47	左末行	エリア作りましょう	エリアを作りましょう
p.47	右4行目	プロテクショナルエリア	プロテクショナルエリア
p.48	左23行目	守っていききたい	守っていききたい
p.52	右13行目	石灰岩でできている	石灰岩でできている
p.53	左17行目	発生しました	発生しました
p.53	右3行目	伝えるとともに	伝えるとともに
p.58	左5行目	お話しします	お話しします
p.64	右5行目	2002年の国際山学年から	2002年の国際山岳年から
p.65	左30行目	仕事で入る人などを含めた	仕事で入る人などを含めた
p.67	左19行目	巻き狩りを	巻狩りを
p.68	左26行目	おっしゃいましたが、	おっしゃいましたが、
p.69	左5行目	山岳信仰などの	山岳信仰などの
p.73	左22行目	多様な価値観の尊重すると	多様な価値観を尊重すると
p.76	右末行	必要なのではないか	必要なのではないか